

神戸大学医学部附属病院

呼吸器外科

指導担当医（役職）

小川 裕行（特定助教）

実習概要

概要

当科の実習では、診療チームの一員として手術や病棟処置を含めた診療に参加頂き、手術症例における術前評価、手術見学・手洗い実習を含めた手術参加、術後管理のすべてにわたって、研修医と同等に行ってもらうことを目標とします。手術参加のみならず、病棟では、周術期の胸部の診察法と、胸腔ドレーンの管理法を実践的に経験頂きます。また、呼吸器内科・病理部・放射線科との合同カンファレンスに参加し、原発性肺癌を中心とする疾患の集学的治療についての知識も深めて下さい。

医療面接

毎日、朝と夕方の病棟回診の時に所属チームの担当患者の訪室を行います。その際に医療面接や聴診を含めた身体診察を行うようにします。

希望があれば外来診療における問診や身体診察も行えるようにします。

身体診察

毎日の朝夕病棟回診に合わせて診察を行います。

特に肺気腫や間質性肺炎など、呼吸器外科手術症例における呼吸器疾患として重要な病態の手術前後での病態を把握し、術後の増悪の有無を早期発見できるようにトレーニングします。

手術創部の確認・胸腔ドレーンの管理・術後合併症の有無の把握を中心とした術後管理について学んでいただきます。

カルテ記載

カルテ記載を行う代わりに、担当した症例の手術記録を作成頂きます。

手術記録は手術内容に加えてイラストも合わせて描いてもらう予定です。

症例プレゼンテーション

病棟回診前や術前カンファレンスの際に担当患者のプレゼンテーションを行ってまいります。

その他（特色など）

原発性肺癌など腫瘍性病変の診療は定期入院の上での手術となることが多いですが、気胸・膿胸などの疾患は緊急入院・手術となることもあります。もし経験希望があれば適宜対応しますので、遠慮なく連絡下さい。

学生へのメッセージ

臨床実習2では呼吸器外科に特化した修練を予定しています。原発性肺癌に対する標準手術である肺葉切除術を中心に、呼吸器外科の外科的治療と術後管理を学んでいただきます。さらに、手術を必要としない病態に対する治療・管理も学んでいただき、呼吸器外科を通じて外科治療の基本に対する理解を深めてください。